

★ぷち企画コーナー

「カブトムシ・クワガタ」★

夏と言えば、カブトムシやクワガタを思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか！

大人気の「カブトムシ・クワガタ」を外すわけにはいかないということで、飼育スタッフ頑張りました！

ぷち企画コーナー「カブトムシ・クワガタ」を、夏休み期間にあわせて開催します！

珍しいカブトムシやクワガタにワクワク！ドキドキ！

お父さんやお母さんと一緒に、観察してみてくださいね！



- 開催期間：8月31日(日)まで
- 開催場所：里のいきもの館
- 参加費：無料(別途要入園料)

☆「森café」期間限定OPEN☆

夜を楽しむカフェですから、メニューにアルコールも登場。

車でお越しの方には、ノンアルコールも準備しています！

素敵な夜をおつまみに、森caféで一杯いかがですか？

営業日 8月の金・土・日、8月13日(水)・14日(木)

営業時間 17:00～20:30(売切れ次第終了となります)

花火打上げ日(23・24・30・31日)は短縮営業になります。

営業場所 ウサ・モルハウス前、マダガスカルウッドデッキ

天候などの都合により変更・中止することがあります。どうぞご了承下さい。

詳しくは、HPもしくは到津の森公園(651-1895)まで、お問い合わせ下さい。

森の仲間たち

「到津の森公園」公園事務所  
 北九州市小倉北区上到津 4-1-8  
 Tel 093-651-1895 〒803-0845  
<http://www.itozu-zoo.jp/>



森のお便り 8月号 2014年

発行・編集 「到津の森公園」「森の仲間たち」14年8月1日発行 通巻138号

ITOZU YORU ZOO  
～夜の動物園～

8月の毎週金土日、  
8/13(水)、8/14(木)は  
21:00まで営業！



「ITOZU YORU ZOO ～夜の動物園～」の

『特別イベント』もお楽しみいただけます。

動物園で、夏の夜を締めくくりませんか。

毎夏恒例の花火と音楽のコラボレーション

「星降る花火ファンタジー」を、

今年も、開催いたします。

当日は夜9時まで開園。

- 日時：8月23日(土)・24日(日)  
30日(土)・31日(日)  
各日 20:30～10分程度
- 場所：園内 芝生広場
- 観覧料：無料 ※入園料は必要

花火当日は、通常より早く動物を寝室へ収容するため、早めのご来園をおすすめいたします。



# 花暦葉月

年々厳しくなる日本の夏、静かに花をつけるナツフジ(夏藤)は、おぼさんの最も好きな八月の花といえるかも知れません。

この時季には市内でも山のとっつきまで出かけると、林の縁の茂みに見られる清楚な白い花ナツフジ。春に咲く豪華なフジ(ノダフジ)と同じく木に巻き付くツル性で、その巻き方も右巻(左ネジ巻)と同じ。そのツルから軸を垂らし先端に花の房をつけます。

全体の姿はおよそフジと同じながら葉も花もツルも小形で、特に長く細い軸、その先の淡緑を帯びた白花の房は何とも涼しげな印象を与えてくれる繊細さ。自然豊かな山地に分け入ったような気分にしてくれる嬉しい花でもあるのです。

その割にあまりナツフジの名を聞く事はなく、歳時記を紐解いても季語とはなっていないようでとても残念、不思議でなりません。でも嬉しい事に園内では野性のままのナツフジを何か所も見つけられますよ。ビオトープの傍ら、森の斜面が一番見つけやすい所ですが、バードゲージ横、通路側の斜面等、探してみても下さいね。あっと思うような植栽にからみつき、表面を覆って、ちゃっかり日光を我がものにしています。

酷暑にめげぬ生命力、ひ弱に見せかけていつの間にか特等席をしめる姿は愉快・愉快。この逞しさをいただいて、夏の花探検をしながら園内を歩いてみましょう。

ウバユリ・エノコログサ・アキノタムラソウ・ヤブミョウガ・ミツバ、ビオトープにはガマ・ミソハギの植栽が目立ちます。フヨウ(芙蓉)は一日花で次々咲き続け、マテバシイをはじめドングリの仲間もまだ緑色ながら実をつけ始めています。

管理棟・里の生き物館・子供ホール等で涼しく一息入れながら、園内散歩をお楽しみ下さい。

管理棟二階ショップのソフトクリーム、マンゴーとバニラのハーフ&ハーフはおぼさんの一押しです。

文：花咲くおぼさん

## 森のなかま・ホウシャガメ

産まれてまーす。

実は少し前から展示しているんですが、ホウシャガメが孵化しています。ワシントン条約の附属書I、ゾウやレッサーパンダと同じ扱いをされているカメです。マダガスカルに分布していて放射状の甲の模様からその名があります。

到津の森公園に来たときはまだまだ小さな子ガメでした。カメは子供のうちは雌雄がわかりません。成長と共に尾や腹甲などの形状が変わっていきます。この個体たちも、尾の形状を見ながら最初はオス2メス4と判定していたんですが、結局1頭は変化が進まずメス。結局オス1メス5でした。それが今や大きな個体は7kg超、小さな個体でも6kg弱といったところですよ。いまだにしっかり交尾の確認ができていないので殖やしたというより殖えたというかんじですが、きちんと受精させられるオスであること、しっかりした卵を産めるメスがいることが分かりました。

それで、孵化した個体2頭は里のいきもの館で元気にしています。甲の模様が違うので見分けるのが楽で助かります。ただ小松菜をあまり食べてくれず、タンポポが好物のようです。ハコベやクワ、イヌビワなんかも食べてくれるんですが、通年手に入る野菜を食べてくれないと冬が困るんですが…さーどうなりますことやら…



飼育展示係 吉森 安英